

# いのちを守る 学び継ぐ

緊急医療と防災教育の最前線



神戸大学 震災復興支援・災害科学研究推進室  
第7回 シンポジウム

平成30年 **11月30日(金)**

13:30-17:30 開場 12:20 | プレイベント(活動報告) 12:30-13:20

神戸大学百年記念館 六甲ホール  
兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

定員 **300名** 参加費 **無料**

主催 | 国立大学法人神戸大学  
共催 | 国立大学法人東北大学、国立大学法人岩手大学、一般社団法人国立大学協会

後援 | 兵庫県、神戸市、公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構、国際復興支援プラットフォーム(IRP)、神戸新聞社、朝日新聞神戸総局、河北新報社、岩手日報社、産経新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK神戸放送局、サンテレビジョン



## お申込み方法

E-mailまたはFAXにて **11月26日(月)** までに、以下の事項について窓口までお知らせください。  
①氏名、②氏名ふりがな、③連絡先(E-mail/Fax)、④ご所属(無しでも結構です)

参加申込書	ふりがな	
	氏名	ご所属
連絡先(E-mail/FAX)		

ご同伴者様	ふりがな	ふりがな
	氏名	氏名
	ふりがな	ふりがな
	氏名	氏名

※E-mailにてお申込みの場合は件名を「11/30防災シンポジウム参加」としてください。  
※FAXにてお申込みの場合は上記の申込書にご記入の上、送信ください。  
※お申込みによる個人情報は、本シンポジウム運営以外には使用いたしません。  
※当日参加も可能ですが、定員になり次第、受付を終了しますので、是非事前にお申込みください。

## お申込み窓口

神戸大学 震災復興支援・災害科学研究推進室  
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1  
E-mail → **sfsk-jimu@office.kobe-u.ac.jp**  
FAX → **078-803-5049**

## 開催場所

神戸大学百年記念館 六甲ホール

※阪急神戸線「六甲」駅、JR神戸線「六甲道」駅、阪神本線「御影」駅から、神戸市営バス36系統「鶴甲団地行」乗車～「神大文理農学部前」下車、南へ徒歩3分  
※大学構内は駐車場の余裕がありませんので、公共交通機関にてお越しください。




# いのちを守る・学び継ぐ

## プログラム

[ 総合司会 ] 震災復興支援・災害科学研究推進室 室長 / 杉村 和朗

12:20	開場
12:30 → 13:20	<p>プレイベント〔活動報告〕 司会：神戸大学 内海環境教育研究センター 准教授 / 林美鶴</p> <p>震災復興支援・災害科学研究推進室で支援している災害科学分野における学術研究、人材養成及び社会貢献の実現に取り組む活動について、各事業代表者がリレー方式で解説します。</p>
13:30 → 13:35	<p>学長挨拶 神戸大学学長 / 武田 廣</p>
13:35 → 13:40	<p>来賓挨拶 国立大学協会 専務理事 / 山本 健慈</p>

## 第一部 災害の緊急医療対応

13:40 → 14:10	<p>● 招待講演 1</p> <p>東日本大震災時における 災害医療コーディネーションとその後の取り組み</p> <p>東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授 / 石井 正</p>	
14:10 → 14:40	<p>● 招待講演 2</p> <p>災害医療支援に不可欠なロジスティック</p> <p>AMDAグループ代表・ 認定特定非営利活動法人AMDA理事長 / 菅波 茂</p>	
14:40 → 14:55	<p>● 講演</p> <p>AIを使ったDMATの即時チーム編成について</p> <p>神戸大学 海事科学研究科 准教授 / 沖本 天太</p>	
14:55 → 15:25	<p>● ディスカッション</p> <p>[ 司会 ] 神戸大学 医学研究科 教授 / 菅良 一郎</p> <p>[ 登壇者 ] 東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授 / 石井 正 AMDAグループ代表・認定特定非営利活動法人AMDA理事長 / 菅波 茂 神戸大学 海事科学研究科 准教授 / 沖本 天太</p>	
15:25 → 15:45	<p>ポスター説明</p> <p>ポスター展示場にて、各事業代表者による説明を実施</p>	

## ～ 緊急医療と防災教育の最前線～

東日本大震災から7年、  
それ以降も多くの災害が起こっていますが、大災害への備えは万全ではありません。  
いのちを守る緊急医療対応は、どのように進化しているのか。  
また未来の安全・安心を次世代に託すために、防災を学び継ぐ教育の動きは・・・。  
本シンポジウムでは、東日本大震災を経て進化しつつある防災の最前線を  
神戸大学から市民へ向けて発信するため、  
多方面から講師をお迎えし、参加者と共に議論を交わします。

## 第二部 防災教育の最前線

15:45 → 16:15	<p>● 招待講演 1</p> <p>全学共通・学部・大学院一貫の 防災・危機管理教育の構築に向けて</p> <p>香川大学 創造工学部 教授 / 長谷川 修一</p>	
16:15 → 16:45	<p>● 招待講演 2</p> <p>東日本大震災を教訓とした 地域防災への取り組み</p> <p>岩手大学 地域防災研究センター 客員教授 / 越野 修三</p>	
16:45 → 17:00	<p>● 講演</p> <p>被災経験を引き継ぎ、活かす ー兵庫県での教育連携ー</p> <p>兵庫県立大学 減災復興政策研究科 准教授 / 紅谷 昇平</p>	
17:00 → 17:30	<p>● ディスカッション</p> <p>[ 司会 ] 神戸大学 国際協力研究科 教授 / 金子 由芳</p> <p>[ 登壇者 ] 香川大学 創造工学部 教授 / 長谷川 修一 岩手大学 地域防災研究センター 客員教授 / 越野 修三 兵庫県立大学 減災復興政策研究科 准教授 / 紅谷 昇平</p>	
17:30	閉会	